

# 無料塾の活動

編集部

## 1 無料塾とは

「無料塾」の塾生募集チラシから、特徴が分かる。

(募集チラシ『無料塾やっています!』より)

・その名の通り、「無料」で勉強を教えてください!  
自宅だと「集中できない」「勉強できない」という方! 無料塾は、場所をお借りして自宅以外の場所で行っています。

・教材は「宿題」「受験勉強で使用しているもの」等々、なんでも持ってきてOK!(自分で持ってきてください!)

・「勉強の仕方が分からない……。」「学校の先生には聞きづらい……。」「解き方が分からない……。」

という方、大丈夫です!一緒に考えます!みんなでも楽しく勉強してみませんか? 苦手なことも楽しくなるかも!?

・無料塾は自分で勉強して分からない所を聞く質問形式になっています。どんどん気軽に質問してください。

現在、左記の新潟市内6カ所で行っている。

① 白新コミュニケーションハウス2F (中央区白山浦2の180の3、毎月第2・4火曜日)

② 金宝寺 (中央区上所上1の11の5、毎月第1・3水曜日)

③ 坂井輪診療所2F (西区寺尾東3の8の35、毎月

## 第2・4木曜日

④ くらしとけんこうの駅ふなば（江南区東船場2の2の2、毎月第1・3火曜日）

⑤ 新潟県商工団体連合会（東区大形本町3の4の12、毎月第1・3金曜日）

なじよも3号館3F多目的室（東区上木戸5の2の1、毎月第2・4金曜日） ※どこも祝日は休み

各会場には、塾のスタッフが配置されていて、会場の管理をしたり、生徒の学習をみたりしている。スタッフの中には、小・中・高校で教えた経験を持つ人もいて、生徒からの質問に答えている。

生徒の対象は中1〜高3だが、小学生については、相談に応じて入塾を認めている。

PTAや地域のボランティアの力を借りて、放課後に学習会を開いている学校のことしばしば耳にする。しかし、「無料塾」のように、地域で塾を開催しているものは、めずらしい。

## 2 生徒・父母の願いに応えて

### 努力しているスタッフ

生徒の皆さんは、様々な動機を持ち、この塾に参加

している。宿題をやったり、分からないところを克服したいと質問をしたりしている。そして、励まし合って学習することで、学習に集中して取り組めるようだ。さらに、友達との交流が生まれ、居場所にもなっている。

開催場所によって塾に通っている人数はまちまちだが、11名の時もあつたとのこと。英語・数学に関する質問が多く出されていて、子どもたちの課題意識が反映されている。

父母は、「宿題をみてほしい」「学力をつけてほしい」と願っている。そこで、塾では一会場に複数のスタッフを配置することを目指してきた。現在、入塾希望者の増加を受けて、新たなボランティアの講師を募集している。

## 3 学校教育外の学習場が求められている

所得の差異により中等・高等教育への進学率が左右されてきている。その一因として、学校教育外の塾や習い事を手厚く経験することの有無が影響していると言われている。

夏休みが近づいたこの頃、学習塾の新聞折り込みチ

ラシが増えてきた。〇〇教育研究会を例にとると、夏期講習中3コース（50分を3コマ・11日間）基本で約4万円。オプシヨン講座は、3コマ単位で4千円の追加料金がかかる。また、模擬試験代は、約4千円別途かかる。

実質賃金さがり、教育費の負担感が高まっている時期、無料で勉強を見てもらえる場があることは、とても心強い。生徒達は友達と教え合うことで、より一層理解を深める意欲を高めている。

塾の講師を担当している人々は、公教育の無償化や、給付型の奨学金制度の充実を要求すると共に、生徒や父母の願いを実現しようと努力を積み重ねている。

（文責・所員 小東）

## 今年も開催 2016年戦争展

戦争展運動とは一言で「過去の戦争体験を風化させないで、若い世代に伝承し、2度とふたたび戦争の過ちを繰り返さない世論を作り上げること」です。新潟市で開催される第8回戦争展の中心テーマは、

— 誰の子も殺させない 殺さない —

— 近づいている戦争の足音 —

新潟県民会館3階ギャラリーBで。

8月19日（金）～21日（日）

（パネル以外の催しもの）

19日 13時過ぎから

・音楽と書道パフォーマンス

・ソプラノ独唱

・講演「日本は戦時中東南アジアで何をした？」

20日 14時過ぎから

・講演「なぜ危険な基地のまわりに住んでいるのか — 沖縄戦最中につくられた米軍基地 —」

・歌・童謡と軍歌

21日 13時過ぎから

・紙芝居「サイパン島」

・戦争体験を聞く

（文責 小東由男・所員）